

RPS法認定 川平第二発電所の営業運転開始について

当社は、平成18年1月から川平第二発電所の建設を進めてまいりましたが、昨日(9月27日)18時、営業運転を開始しました。

当発電所は、平成18年8月29日に経済産業省よりRPS発電設備として認定を受けています。

1. 発電所概要

所在地	鳥取県日野郡江府町大字久連地内
取水河川	日野川水系日野川
発電方式	流れ込み式
最大出力	120kW
最大使用水量	約1.6m ³ /s
有効落差	約9m

2. 発電所の特徴

- (1) RPS法^{※1}施行後に電力会社が同法対象設備として開発を開始した初めての水力発電所です。
- (2) クリーンエネルギーである水力エネルギーを有効利用するため、水車および発電機の性能上これまで利用できなかった川平発電所(昭和6年運転開始)の小流量の水を利用して発電します。
- (3) 水車および発電機に当社では初めて水中タービン発電機^{※2}を採用したほか、水圧管路にFRPM管^{※3}を用いる等、新技術を導入し、コストダウンや工期の短縮を図りました。

3. 主要経緯

- 平成17年 3月 17日 地元へ建設申入れ
- 平成18年 1月 13日 工事計画届提出・着工
- 平成18年 9月 27日 営業運転開始

- ※1 RPS法(Renewables Portfolio Standard)
「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」
(平成15年4月施行)
電力会社に対して一定の割合で新エネルギーの導入を義務付けた法律

- ※2 水中タービン発電機
水車と発電機が一体構造で、水路内に吊り込み設置する水車・発電機。当発電所では当社グループ企業であるイームル工業(株)製を設置。

- ※3 FRPM管(Fiberglass Reinforced Plastic Mortar)
強化プラスチック複合管のことで、従来の水圧管の材料である鋼材に比べて軽量で、溶接が不要なため施工性に優れる等の特徴を持つ。

以上

【別紙】

[川平第二発電所概要図](#)

 [川平第二発電所写真\[PDF:245KB\]](#)

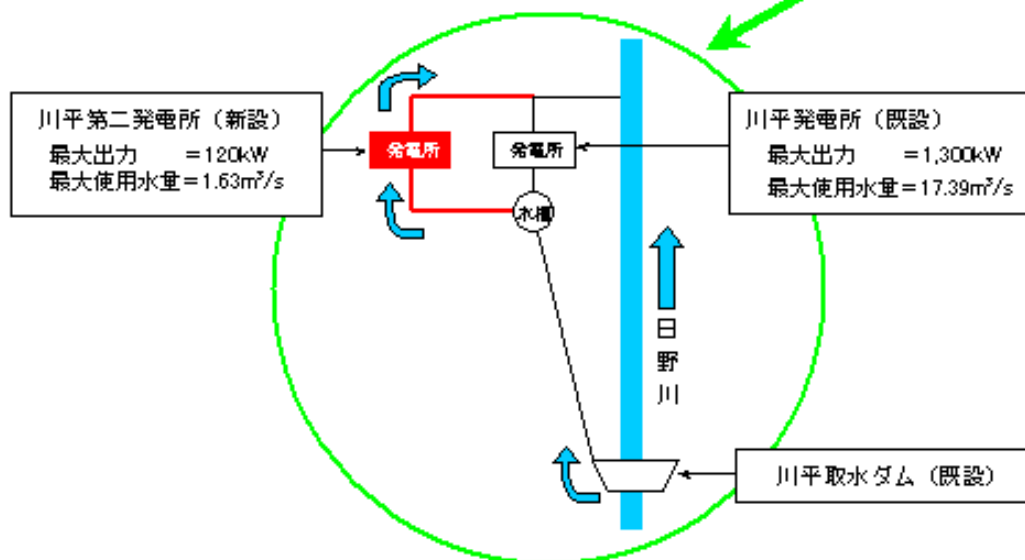
関連リンク

・ [水力発電](#)

川平第二発電所 概要図



位置図



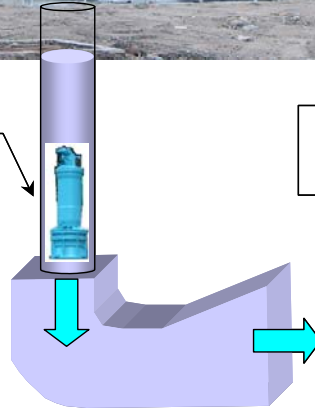
模式図

※ 川平第二発電所は、取水ダム地点の河川流量が少なく、川平発電所が運転できない場合に運転します。



水中タービン発電機

水の流れ



発電所全景



水中タービン発電機（吊り込み状況）